

「持続可能社会構築のための大型真空装置による基礎物理の解明とエネルギー応用」

日本真空学会東海支部

支部長 種村眞幸

真空技術は、高度な研究開発を支える技術でもあり、その発展により大型の研究装置が実現してきました。そして、プラズマ・核融合や、原子核・素粒子といった、基礎から応用までの研究が進められ、プラズマの基礎物理を解明することによる次世代のエネルギーの基幹技術の開発や、原子核とそれを構成する素粒子の実体を究め物質創成の謎を解明することによる農業、医療など産業に応用する技術の開発も行われています。本研究例会では、その装置技術を中心に真空技術の活躍する場をご講演いただくことにしています。なお、実際の装置として核融合科学研究所の大型ヘリカル装置の見学も予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

主催：日本真空学会東海支部

協賛：応用物理学会東海支部、日本表面科学会中部支部（依頼中含む）

日時：2015年11月13日(金) 13:30～17:30

会場：核融合科学研究所 研究I期棟2階 209号セミナー室（岐阜県土岐市下石町322-6）

会場アクセス <http://www.nifs.ac.jp/michi/index.html>

参加費：（当日会場にてお支払いください）

日本真空学会会員、協賛学会会員 無料

非会員 1,500円

学 生 無料

懇親会（会場：土岐っ子） 2,000円（予定）

参加申し込み時に、懇親会への出欠をご連絡ください。

申し込み・問い合わせ先

申し込み締め切り：11月6日（金）

日本真空学会 東海支部 庶務担当 安部 功二（E-mail: [abe@nitech.ac.jp](mailto:abe@nitech.ac.jp)）

プログラム（案）

13:30～13:45 開会挨拶

河原 敏男（日本真空学会東海支部 副支部長 中部大学 教授）

13:45～14:30 「プラズマ物理、プラズマの基礎」

石原 修（中部大学 教授）

14:30～15:15 「加速器の真空技術」

奥野 広樹（理研仁科加速器研究センター 加速器基盤研究部 副部長）

休憩（20分、15:15～15:35）

15:35～16:20 「大型ヘリカル装置 LHD を用いた核融合研究の進展と真空技術」

本島 巖（核融合科学研究所 准教授）

16:20～16:30 閉会挨拶

16:30～17:30 施設見学

17:30～ 懇親会（土岐っ子）